

日光山輪王寺について

●奈良～平安時代

日光山は、今を遡る約1250年前、奈良時代の末(天平神護2年(766))「勝道上人」という高僧が、「神仏習合」の霊山として開山しました。

平安時代になると弘法大師「空海」や慈覚大師「円仁」(第三代天台座主)らの来山伝承があり、嘉祥元年(848)、円仁による「三仏堂」や「常行堂」など天台様式の仏堂の創建を契機として、日光山は天台宗大本山としての歩みを始めます。

●鎌倉～室町時代

鎌倉幕府から篤く崇敬を受けた日光山はこの頃より「男体山・女峰山・太郎山」の三山を「神」として、同時に「千手観音・阿弥陀如来・馬頭観音」の「仏」として崇める「日光三所権現」の信仰が整い、修験道(山伏の修行)が盛んになります。

室町時代には所領十八万石、500におよぶ僧坊が建ちならび隆盛を極めます。

●江戸時代

徳川初代将軍「徳川家康」、二代「秀忠」、三代「家光」の各公から絶大な崇敬を受けた高僧「天海」が貫主となります。

家康公は元和2年(1616)、人生の指南役であった天海大僧正らを駿府城(静岡)の枕辺に招き、「自分の死後、遺体を久能山(静岡)に納め、葬儀は増上寺(東京)で行い、位牌を大樹寺(愛知)に立て、一周忌を過ぎたら日光山に小さき堂を建ててて勸請せよ。我、関八州の鎮守とならん。」という遺言を託し、4月17日に薨去されます。天海大僧正は遺言を受け、家康公の御霊を「東照大権現」(現在の東照宮)として祀りました。

三代将軍「家光」は、祖父「家康」への尊崇の念深く、家康公の死後20年となる寛永13年(1636)に東照宮を現在の豪華絢爛な社殿へと大きく建て替えました。慶安4年(1650)4月20日の臨終に際して、敬愛する天海大僧正と神君(家康公)の眠る日光山への埋葬を遺言し、1年2ヶ月という短期間で、山内西端の地に「大猷院」が造営されました。

●明治時代～現代

明治維新の戊辰戦争では日光山は戦禍に巻き込まれることなく済みましたが、明治4年(1871)に「神仏分離令」が發布されるとそれまで神仏習合の霊山として一つのものであった日光山も「輪王寺・二荒山神社・東照宮」に分離され、「日光二社一寺」と呼ばれるようになります。第二次世界大戦(1939～1945)でも日光山は京都、奈良、鎌倉と同様に空襲に遭うことなく、全ての文化財は無傷に継承されました。

平成11年(1999)12月、日光二社一寺の輪王寺38棟、東照宮40棟、二荒山神社23棟、その他2棟、合計103棟と50.8ヘクタールの境内が、ユネスコの世界遺産(文化)に「日光の社寺」として登録され、現在に至っています。

鉄道でのアクセス

■東京から日光まで



■新宿から東武日光まで



■浅草から東武日光まで



■世界遺産巡りバス(駅からのアクセス)



駅からのアクセス

車でのアクセス

■東京から日光まで



詳しくはこちら

世界遺産

日光山 輪王寺

〒321-1494
栃木県日光市市内2300
TEL 0288-54-0531



www.rinnoji.or.jp



日光山輪王寺
www.rinnoji.or.jp

日本語



世界遺産

日光山 輪王寺

Rinnoji Temple
— THE WORLD HERITAGE —



日光山輪王寺境内のご案内

日光山輪王寺は、日光市山内地区のほか中禅寺湖付近や奥日光などに境内があります。

三仏堂は輪王寺の本堂であり、周辺には、大護摩堂や宝物殿・逍遙園などがあります。また山内地区西側には徳川三代将軍家光公(1604～1651)の霊廟である大猷院をはじめ、常行堂などがあります。

輪王寺は1999年にユネスコの世界遺産「日光の社寺」として登録されました。

大猷院(家光公霊廟)

徳川三代将軍家光公の廟所です。

家光公は、慶安4年(1651)4月20日、江戸城にて将軍現職のまま48歳で薨去されました。その遺言に従い四代将軍家綱公によって1年2ヶ月の短期間で創建されたのが大猷院です。

境内には22件の国宝・重要文化財が建ちならび、周囲の木立と相俟って重厚で荘厳な雰囲気を出しています。

大小4棟の門をくぐるたびに景色が変わり、あたかも天上界に昇ってゆくかのような感覚を覚えます。



さらに詳しい輪王寺の境内マップはこちらから

本堂(三仏堂)

三仏堂は日光山の総本堂です。平安時代、山内北裏の瀧尾権現の地に、慈覚大師円仁によって創建され、その後、新宮(現二荒山神社)境内に移築、正保2年(1645)に三代将軍家光公によって現在の建物に造替されました。さらに明治14年(1881)に今の地に移築され現在に至ります。

堂内には千手観音・阿弥陀如来・馬頭観音の三仏が本尊として祀られています。



常行堂・法華堂

嘉祥元年(848)に慈覚大師円仁によって、比叡山延暦寺の「にない堂」に倣って建立されました。和様の宝形造で、隣の唐様の法華堂との間に、歩廊を設け接続されています。

この形式は大変珍しく、現在では比叡山延暦寺と、輪王寺の二か所が代表的です。

常行堂の御本尊は、宝冠阿弥陀如来で、宝冠を頂きジャクに乗ったお姿です。平安時代末期の仏像で、国の重要文化財に指定されています。 ※現在、法華堂は非公開です。



Information & Multilingual translation



「日光山輪王寺」多言語解説サイト

境内の各史跡についてはこちらのQRコードからご覧いただけます



薬師堂(鳴き龍)

徳川家康公は薬師如来の化身としてこの世に生まれ、世の平和を実現し、死後は東照大権現として東照宮に祀られました。

薬師如来は人々の心身の健康と世界の平安をもたらす仏さまです。このお堂はそうした東照大権現の本地仏である薬師如来がお祀りされており、東照宮境内最大の建造物です。その天井には大きな龍が描かれ、その下で拍子木を打つと鈴のような妙音を響かせることから鳴き龍の名で広く知られています。



大護摩堂

護摩祈願を行うお堂です。護摩とは修行者が火を焚いて魔障を払い、供物を捧げて仏を供養することで、さまざまな利益をもたらす修行です。

堂内には不動明王を中尊とした五大明王(平安中期作)を中心に、七福神や祖師像など30体の尊像が祀られており、年間を通じて毎朝7時30分を第一座として1日数回の護摩祈願を行っています。



中禅寺(立木観音)

坂東観音霊場 第十八番札所

中禅寺は、延暦3年(784)、日光開山「勝道上人」によって建立されたお寺で、世界遺産「日光山輪王寺」の別院です。

御本尊「十一面千手観世音菩薩」(国指定重要文化財)は、勝道上人が中禅寺湖上に千手観音様を感得され、その姿を桂の立木に彫ったお像と伝えられています。



〒321-1661 日光市中宮祠2578 TEL 0288-55-0013

宝物殿・逍遙園

江戸時代初期、大名であり茶人、建築家、作家、書家でもあった小堀遠州(1579～1647)の作庭と伝わる日本庭園です。

園内には近江八景の琵琶湖を模したといわれる大池を中心に、シャクナゲ、サツキ、カエデなどが数多く植えられ、四季を通じて楽しめる池泉回遊式の庭園となっています。

庭園に隣接する宝物殿には、日光山の1250年にわたる約3万点の什宝が蔵され、常時50点以上の寺宝が展示されています。

